

令和6年度「わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業」事業概要(大仙市)

1 市の概要(人口 74,630 人)※令和6年4月1日現在

就学前教育・保育施設数、小学校数(令和6年4月1日現在)

幼稚園	うち、幼稚園型 認定こども園	幼保連携型 認定こども園	保育所	うち、保育所型 認定こども園	地方裁量型 認定こども園	小学校
0 園	0 園	9 園	16 か所	1 園	0 園	20 校

その他:小規模保育1 認可外3

2 教育・保育の現状と課題

市の教育・保育の課題

- (1) 各施設の保育実践力は年々向上し底上げが図られているが、十分とはいえない。
- (2) 就学前教育・保育施設と小学校の子どもの捉え方や育ち・学びへの理解にまだ相違がある。
- (3) 全小学校区で園小の連携協議会等が組織されたが、幼児教育から学校教育への接続を円滑に実践するための十分な環境づくり・体制づくりと「意識改革」が必要である。

3 事業計画の概要(3年間の主な計画)

目的(3年間)

保育者の専門性や保育実践力の向上及び小学校教育との円滑な接続に向けて教育・保育アドバイザーを2名配置し、県や市教育委員会と連携しながら、就学前施設への巡回支援や地域での研修会等を実施することにより、地域で学び合う体制づくりを更に推進し、教育・保育の主体的な推進体制の充実・強化を図ると共に、幼小接続が更に円滑に行われるよう取り組む。

主な内容(3年間)

- (1) 部局間連携による教育・保育推進体制の充実
 - ◇市教育委員会との連携の更なる強化
 - ・連携会議の継続的な開催
 - ・合同研修会を共催として開催
 - ・架け橋期のカリキュラム作成に向けた連携
 - ・連携だより作成、発行への協力
 - ◇県立大曲支援学校との連携
 - ・地域支援部を活用した特別支援教育の充実
 - ・市こども家庭センターとの情報共有
- (2) 教育・保育アドバイザーによる園への支援
 - ・就学前施設の教育・保育経験者と小学校教育の経験者2名が、教育・保育アドバイザーとして活動を継続
 - ・就学前施設への年2回の定期的な訪問の継続(29施設)
 - ・巡回派遣訪問と園内研修の充実に向けた支援
 - ・法人や施設形態の枠を越えた「学び合い」の体制の確立
- (3) 専門性向上のための研修の充実
 - ・保育実践力向上に向けた研修会の実施(年2回)
 - ・他市研修会への参加
- (4) 小学校教育との円滑な接続に向けた研修等の充実
 - ・相互理解を深めるための保育参観、授業参観、協議参加の定着
 - ・教育・保育の質の向上と小学校との円滑な接続を図ることを目的とした合同研修会の開催
 - ・架け橋期のカリキュラム作成に向けた開発会議の立ち上げ
 - ・連携だよりの定期的な発行の継続
- (5) 県との連携体制及びアドバイザーネットワークの活用

・「他市町村アドバイザーに学ぶ研修会」を活用した保育の質の向上を図る取組 ・県主催の協議会や所管研修への積極的な参加 ・保育の改善の方向付けを目的とした県指導主事要請訪問や認定こども園訪問の同行を継続し、保育改善の方向性を図る。 ・市主催研修会の講師に招く。 ・アドバイザーネットワークの活用による、保育の質の向上を目的とした他市との交流。	
年度別重点	
令和4年度	・園内研修に関わる回数を増やすとともに関わり方を改善し、園自らが更に主体的に保育の質の向上に努められるよう支援する。 ・より具体的なスタートカリキュラムの作成の仕方について研修会を実施し、小学校が園と関わりながら作成できるよう土台作りをする。
令和5年度	・園内研修や地域による学び合いを更に充実させ、参加した個々の保育士に留まらず、園全体で保育の質が向上できるよう関わりを深める。 ・実効性のあるスタートカリキュラムを園と協同で作成できるよう関わり、幼小の接続が更に円滑になったことが実感できるよう支援する。
令和6年度	・地域による学び合いが、アドバイザーの関わりなしでも園同士で進められるような体制づくりを推進し、地域（市）全体の保育の質が偏りなく向上できるよう支援する。 ・保育や授業の参観及び協議への参加体制確立のもと、園小協働による架け橋期のカリキュラム作成の土台づくり、体制づくりに深く関わる。

4 令和6年度の具体

目 的

教育・保育アドバイザー2名で活動。市内の教育・保育施設及び小学校への事業年度計画や重点の周知。園内研修等の支援を通じ、保育士個々に留まらず園全体の保育の質が向上できるよう関わりを深めていく。また、各小学校区の連携組織が実効性のある充実したものになるよう「架け橋期のカリキュラム」作成の土台づくりを進め、相互理解をより深め接続が更に円滑になるよう働きかけていく。

実施内容及び実施状況

（1）部局間連携による教育・保育推進体制の充実

□本事業の主体であるこども政策課と市教育委員会との連携の更なる強化

◇連携会議の継続的な開催

- ・今年度から、市教委が本事業の連携担当者を、1名から2名に増員。
- ・「連携会議」を毎月1回開催し、幼小の接続に係る園小連携の進捗状況等の情報共有、事業に関する意見交換・情報交換及び打合せ等を行っている。

◇園小の合同研修会「就学前・小学校大仙地区合同研修会」を共催として実施

- ・グループ協議の内容を検討し合ったり、係りを分担し合ったりした。

◇架け橋期のカリキュラム作成に向けた連携

- ・校長会等を通して、作成の重要性や見通しを周知
- ・大仙市版架け橋期のカリキュラム作成のための「開発会議」の立ち上げ
- ・開発会議の委員への働きかけ

◇連携だより「だいせん元気っ子」（毎月1回程度発行）への協力

- ・内容について、連携会議を通じて検討し合っている。

□県立大曲支援学校との連携

◇大曲支援学校の地域支援部を活用し、特別支援教育の充実を図った。

- ・地域支援部主任の丹波舞子教諭と大沢貴子特別支援教育アドバイザーによる特別支援教育の園内研修支援により、特別な支援を要する園児についての個別相談にとどまらず、園全体で捉え方や関わり方を考えていく研修に引き上げることができた。
- ・市こども家庭センターと連携を密にし、情報共有を図ることができた。

【成 果】

- 市教委の連携担当者を2名にしたことは、市教委が、幼小の円滑な接続に向けた取組の重要性を受け止め、協働して進めようという意識が今まで以上に高まったからといえる。
- 市教委が動き出したことで、架け橋期のカリキュラム作成のための開発会議の立ち上げがスムーズに進んだ。

【課 題】

- 市教委との連携土台を確立し、取組が継続して行われるようにしていく必要がある。
- 特別支援教育の園内研修を実施する園を増やしていく必要がある。

【改善の方策】

- △市教委との連携を継続しながら、共に架け橋期のカリキュラムの作成にあたり、各小学校区のよさを生かしながら、取り組み方法を支援していく。
- △各小学校区での相互参観、協議の相互参加の体制が定着している。今後、小学校の1年担任以外にも参加してもらい、幼児教育の理解につながるようかわり、更に保育改善、授業改善につなげていく。
- △来年度も大曲支援学校の地域支援部と連携し、特別支援教育の充実に努めたい。

(2) 教育・保育アドバイザーによる園への充実した支援

◇令和6年度アドバイザーによる巡回訪問・指導に関する具体的な目標（大仙市）

⑥派遣目標 計 49施設・校／全49施設・校 156回	
回	・保育園：私立 15園（57回）
数	・幼保連携型認定こども園： 私立9園（38回）
	・保育所型認定こども園： 私立1園（4回）
	・その他の施設：小規模保育施設 1カ所（2回）、認可外保育施設 3カ所（7回）
	・小学校：20校（48回）
訪	・園内研修支援（保育改善、テーマ別、研修方法、研修計画）（目標のうち、17園（20回）
問	・公開保育支援（指導・助言、公開保育研究会の運営・準備）（目標のうち、1園（3回）
内	・個別相談（保育者の面談及び指導等、園の課題解決対応等）（目標のうち、0園（0回）
容	・状況把握（保育の状況観察、園長等への聞き取り調査）及び 周知活動（広報紙等での取組経過の伝達、事業内容説明）（目標のうち、29園（58回）
	・県と同行（指導方法研修、園の課題共有、指導内容の明確化）（目標のうち、23園（24回）
	・幼小接続（幼小接続に関する調査及び事業等）（目標のうち、20校（47回）
	4園（2回）
	・その他（他市との交流研修会）2園（2回）
理	・年4回程度の園訪問により、園や保育者の課題に沿った支援を行い、保育実践力をより高めるため。
由	・幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて、教育・保育施設と小学校職員が園小連携活動を通して、お互いの理解を深めていくため。

□教育・保育施設へ年2回定期的に訪問した。

- ・前期訪問（5／2～6／24）では、園の目標や重点、課題の把握、課題解決への助言、特別な支援を要する子の把握及び助言を行った。
- ・後期訪問（12／2～1／7）は、重点および課題や取組の成果と課題について報告を受けたり、支援を要する子の変容の聴き取りをしたりして今後の関わり方について助言を行った。

□巡回派遣訪問

- ・園内研修の支援（園内研修の課題、見直し、改善への助言）
- ・保育支援（指導計画作成、保育実践、保育の振り返り等への助言）
- ・園や個人からの相談への対応（実践発表や指導案への助言）

・特別支援教育の園内研修への支援

- ①大曲乳児保育園 : 2歳児の保育と協議について
- ②大曲駅前こども園 : 4歳児の保育と協議について
- ③大曲中央こども園 : 環境構成と援助について
- ④どれみ保育園 : 指導計画及び要請訪問の指導案について
- ⑤大曲中央こども園 : 全クラスの保育と振り返り（協議）の仕方について
- ⑥大曲中央こども園 : 全クラスの保育と振り返り（協議）の仕方について
- ⑦西仙あおぞらこども園 : 特別支援教育について
- ⑧角間川保育園 : 1・2歳児混合クラスの保育と協議について
- ⑨なかせんワイワイらんど : 特別支援教育について
- ⑩大川西根保育園 : 特別支援教育について
- ⑪大曲南保育園 : 研究の進め方について
- ⑫大曲北保育園 : 2歳児・5歳児の保育と協議について
- ⑬中仙東保育園 : 保育の資質向上について
- ⑭はなだて保育園 : 4歳児の保育と協議について
- ⑮すすくだけっこ園 : 指導要録の記入の仕方について（神宮寺モンテッソーリスクールと共に）
- ⑯内小友保育園 : 特別支援教育について
- ⑰協和まほろばこども園 : 研究主題について（振り返り）
- ⑱みつば保育園 : 園内研について
- ⑲大曲中央こども園 : 幼保小の連携について

□法人や施設形態の枠を越えた「学び合い」の体制の確立

◇指導主事訪問を通した「学び合い」

（実施園）

（参加園）

- | | |
|--------------|--|
| ①大曲中央こども園 | ←せんぼくちびっこらんど、大曲駅前こども園、四ツ屋こども園 |
| ②四ツ屋こども園 | ←なかせんワイワイらんど、内小友保育園、中仙東保育園 |
| ③大曲駅前子ども園 | ←ウエルネス保育園大曲、中仙東保育園、西仙あおぞらこども園
せんぼくちびっこらんど、日の出ベビー保育園 |
| ④つきの木こども園 | ←はなだて保育園、内小友保育園 |
| ⑤おおたわんぱくランド | ←大曲中央こども園 |
| ⑥日の出ベビー保育園 | ←かえで保育園大曲 |
| ⑦西仙あおぞらこども園 | ←大曲駅前こども園、 |
| ⑧せんぼくちびっこらんど | ←かえで保育園大曲、大曲乳児保育園、大川西根保育園 |
| ⑨内小友保育園 | ←大川西根保育園、なごみ保育園、神宮寺モンテッソーリスクール |
| ⑩大曲東保育園 | ←おおたわんぱくランド、協和まほろばこども園、大曲中央こども園 |
| ⑪大川西根保育園 | ←みつば保育園、つきの木こども園 |
| ⑫みつば保育園 | ←藤木保育園、 |
| ⑬すすくだけっこ園 | ←大曲東保育園、神宮寺モンテッソーリスクール |
| ⑭大曲乳児保育園 | ←はなだて保育園、どれみ保育園 |
| ⑮協和まほろばこども園 | ←角間川保育園、大曲北保育園、大曲中央こども園 |
| ⑯はなだて保育園 | ←大曲南保育園、日の出ベビー保育園、大曲中央こども園 |
| ⑰かえで保育園大曲 | ←大曲南保育園、どれみ保育園、すすくだけっこ園 |
| ⑱大曲南保育園 | ←西仙あおぞらこども園、かえで保育園大曲 |
| ⑲中仙東保育園 | ←すすくだけっこ園、大川西根保育園 |
| ⑳藤木保育園 | ←神宮寺モンテッソーリスクール |
| ㉑角間川保育園 | ←きらきら保育園大曲 |
| ㉒大曲北保育園 | ←なかせんワイワイらんど、大曲南保育園、協和まほろばこども園 |

◇園内研修を通した「学び合い」 * 7月に配付した各園の「園内研修一覧」をもとに
指導主事訪問以外に園同士でやり取りした「学び合い」

(実施園)

- ①大曲乳児保育園
- ②大曲南保育園
- ③なかせんワイワイランド
- ④大曲駅前こども園
- ⑤大曲中央こども園
- ⑥なかせんワイワイランド
- ⑦せんぼくちびっこランド

(参加園)

- ←なかせんワイワイランド、はなだて保育園
 ←はなだて保育園、大曲乳児保育園
 ←大曲中央こども園
 ←はなだて保育園
 ←なかせんワイワイランド
 ←協和まほろばこども園
 ←はなだて保育園



<他園の職員も入った園内研修>

【成 果】

- 保育や園内研修を充実させるために、積極的にアドバイザーを活用する園が増えている。前回の訪問時に課題となったことが、その後の訪問時には改善されていることが多く、手応えを感じている。
- 他園の保育を参観し園内研修に参加することで、互いに新しい考えや方法に触れることができ職員自身や自園の取組を振り返り見直しするよい機会となっている。確実に保育の質が向上し、大仙市全体のレベルアップにつながっている。

【課 題】

- 最近新設された施設は、まだ「学び合い」の受け入れに躊躇しているので、「学び合い」のよさを丁寧に伝える必要がある。
- アドバイザーへの各園のニーズの内容がレベルアップしてきていることに伴い、アドバイザーがそれに対応できるよう、更に研鑽を積む必要がある。

【改善の方策】

- △「学び合い」の受け入れに躊躇している施設との信頼関係をさらに密にし、無理なくスモールステップで受け入れてもらえるよう働きかけ、保育の質の向上につなげていく。

(3) 専門性向上のための研修の充実

□保育実践力の向上に向けた研修の実施

◇保育実践力向上研修会Ⅰ

- ・内 容：環境構成の在り方
- ・日 時：令和6年6月27日（木） 13：30～16：00
- ・講義題：「子どもの育ちを支える魅力的な環境構成」
- ・講 師：秋田県教育庁南教育事務所 主任指導主事 佐藤 伸剛 氏
指導主事 戸部 俊和 氏
- ・対 象：大仙市内就学前施設職員
*副園長・園長補佐・研修リーダーから1名、担任1名、計2名



<保育実践力向上研修会Ⅰの演習>

<アンケートより>

- ・講義について 非常に満足…40名 満足…13名 やや不満…なし 不満…なし
- ・演習について 非常に満足…39名 満足…14名 やや不満…なし 不満…なし

<参加者の感想より>

- ・指導計画や園内研修の際に「援助」に目がいきがちだった。環境構成の重要性が分かった。
- ・子ども達にどんな力を付けるためにどんな経験をさせたいのかを基に環境を考え、子どもの興味、関心、遊びの様子や内面を見取るための予測する力、対応力等を身に付けていきたい。
- ・経験させたいとすれば「状況をつくり出す」という言葉が強く残った。

◇保育実践力向上研修会Ⅱ

- ・内 容：特別支援教育（気になる子へのよりよい対応）について
- ・日 時：令和6年9月26日（木） 13：30～16：00
- ・講義題：「引き継ぎツールとしての個別の教育支援計画の作成にあたって
～『できること』に目を向けた目標設定をしてみよう～」
- ・講 師：秋田県立大曲支援学校 地域支援部 主任 丹波 舞子 氏

特別支援教育アドバイザー 大沢 貴子 氏

・対 象：大仙市内就学前施設職員

＊副園長・園長補佐・研修リーダーから1名、担任1名、計2名

＜アンケートより＞

- ・講義について 非常に満足…40名 満足…14名 やや不満…なし 不満…なし
- ・演習について 非常に満足…38名 満足…16名 やや不満…なし 不満…なし

＜参加者の感想より＞

- ・できることに目を向けるためには、子ども一人一人の興味や好きなことなどしっかり見取ることが大事になる。内面理解ができるようかかわっていききたい。
- ・ねらいの設定に課題を感じていたが、3か月で達成できるような目標設定の話を聞き、実践に意欲が出てきた。
- ・「できた」を体験できる工夫を増やし、自己肯定感を高めていく丁寧なかかわり方をして、できることを積み上げていってあげたい。

【成 果】

○研修の参加対象を各園のリーダー的役割の職員と担任の2名にしたことで、園内での研修内容の共有が、より図られるようになり、更に具体的実践に結びつくようになった。

【課 題】

●園や保育士のニーズ（要望）とアドバイザーが必要と考える研修内容のバランス。

【改善の方策】

△引き続き仙北市との研修会交流を進め、横手市などの近隣の市とも連携して保育の質の向上につなげていく。

（４）小学校教育との円滑な接続に向けた研修等の充実

- ・園小連携協議会等の年間計画を市教委からの依頼で提出してもらうことで、相互参観の計画を年間計画に盛り込んでもらい、保育参観・協議参加が当たり前の取組になるようになった。
- ・子どもの育ちや学びに連続性と、円滑な接続の重要性を学ぶ、園小合同の研修会を実施した。

□相互理解を深めるための保育参観・授業参観・協議参加

〈保育参観及び協議への参加：小学校→園〉 ◎は、協議参加

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| ①大曲中央こども園 | ←大曲小から教頭◎ |
| ②大曲駅前こども園 | ←花館小から校長◎、大曲小から教頭 |
| ③つきの木こども園 | ←南外小から校長◎、教務主任◎、1年担任◎ |
| ④おおたわんぱくランド | ←太田南小から校長、教頭◎、1年担任、太田北小から校長 |
| ⑤日の出ベビー保育園 | ←大曲小から教頭◎ |
| ⑥西仙あおぞらこども園 | ←西仙北小から教頭、研究主任、1年担任 |
| ⑦せんぼくちびっこランド | ←横堀小から校長◎、高梨小から教頭◎ |
| ⑧内小友保育園 | ←内小友小から校長◎、1年担任 |
| ⑨大曲東保育園 | ←大曲小から1年担任、東大曲小学校から1年担任 |
| ⑩大川西根保育園 | ←大川西根小から教頭◎、1年担任◎ |
| ⑪みつば保育園 | ←西仙北小から教頭、研究主任、1年担任 |
| ⑫すくすくだけっこ園 | ←神岡小から校長 |
| ⑬四ツ屋こども園 | ←四ツ屋小から4年担任 |
| ⑭協和まほろばこども園 | ←協和小から教頭◎、1年担任 |
| ⑮大曲南保育園 | ←大曲小から1年担任◎、東大曲小から1年担任 |
| ⑯中仙東保育園 | ←豊成小から校長 1年担任◎ |
| ⑰藤木保育園 | ←藤木小から校長、教頭◎、1年担任 |
| ⑱大曲北保育園 | ←花館小から校長 教諭、大曲小から教諭 |

〈授業参観及び協議への参加：園→小学校〉

- | | |
|--------|-------------------------------|
| ①花館小学校 | ←大曲駅前こども園2名◎、大曲北保育園◎、はなだて保育園◎ |
|--------|-------------------------------|

- | | |
|----------|---|
| ②大曲小学校 | ←大曲中央こども園、大曲東保育園、大曲南保育園、大曲駅前こども園
日の出ベビー保育園、かえで保育園大曲 ※協議会なし |
| ③南外小学校 | ←つきの木こども園◎ |
| ④角間川小学校 | ←角間川保育園◎ |
| ⑤内小友小学校 | ←内小友保育園◎ |
| ⑥太田北小学校 | ←おおたわんぱくランド |
| ⑦中仙小学校 | ←なかせんワイワイランド◎ |
| ⑧豊成小学校 | ←中仙東保育園◎ |
| ⑨清水小学校 | ←なかせんワイワイランド◎ |
| ⑩四ツ屋小学校 | ←四ツ屋こども園◎、どれみ保育園◎ |
| ⑪藤木小学校 | ←藤木保育園◎ |
| ⑫協和小学校 | ←協和まほろばこども園◎ |
| ⑬神岡小学校 | ←すくすくだけっこ園◎ |
| ⑭西仙北小学校 | ←西仙あおぞらこども園、みつば保育園 |
| ⑮大川西根小学校 | ←大川西根保育園◎ |
| ⑯高梨小学校 | ←せんぼくちびっこランド◎ |
| ⑰東大曲小学校 | ←大曲南保育園 |



<小学校の授業を参観>

□幼小接続に関する訪問

- ①大曲北保育園 : 花館小学校区園小連携協議会の保育公開

□教育・保育の質の向上と小学校との円滑な接続を図ることを目的とした合同研修会の開催

- ・研修会：令和6年度就学前・小学校大仙地区合同研修会
- ・日 時：令和6年8月6日（火）13：30～16：30
- ・内 容：○講話「就学前教育と小学校教育との円滑な接続」
講師 秋田大学教育文化学部 教授 山名 裕子 氏
○グループ協議：小学校区を基本としたグループで実施
協議テーマ ・架け橋期にどのような力を付けることを大事にしているか
・幼小の円滑な接続に向けた取組の成果と課題
- ・対 象：就学前教育・保育施設職員から各園2名、小学校職員から各小学校2名
- ・その他：仙北市からも9名参加。

〈アンケートより〉

- ・講義について 非常に満足…51名 満足…39名 やや不満…なし 不満…なし
- ・協議について 非常に満足…60名 満足…30名 やや不満…なし 不満…なし

〈参加者の感想より〉

- ・「就学に向けて」ではなく幼児期の遊びの学びや経験が就学後の生活や学習につながっていくことを分かりやすく伝えていただいた。小学校への「適応」をねらうものではないことについて、小学校側の意識を変えていく必要があることを痛感した。
- ・自分のよさを自覚する力を付けることを大切にしているという小学校側の話を聞き、保育においても意識していきたいと思った。
- ・非常に有意義な講義と協議だった。これが参加者だけでなく、現場の職員間で共通理解していくことが課題になってくるのではないかと。



<小学校区を基本としたグループ協議>

□連携だよりの定期的な発行の継続

連携だよりに「だいせん元気っ子」を月1回程度発行している。これまでは、保育の様子や1年生の授業等を随時紹介したりすることが多かったが、相互参観が全小学校区で行われるようになったので、より「接続」やそのための「連携」の意識が高まる内容にしている。

【成 果】

- 全20校、全ての小学校区で相互参観及び協議参加を、年間計画に入れ、当たり前に行き来するようになった。その結果「遊び＝学び」の理解が深まり、小学校の授業改善につなげようとする小学校が増えている。
- 合同研修会を通して、円滑な接続のためには双方との「対話」が重要であると受け止め、その機会をこれまで以上に設定しようとする小学校区が増えた。

【課 題】

- 小学校側に、いまだに入学後の学校への早期の適応を重要視する傾向が残っている。何を一番大事にしていくべきかを互いに語り合う機会を持てるよう関わっていく必要がある。

【改善の方策】

- △就学前施設と小学校の連携のための情報提供や交流の様子を記載し幼小連携の大切さを継続して作成し、更に市教委の連携担当者や大曲支援学校地域支部などの連携機関から寄稿の協力をもらい、内容をさらに充実させて幼児教育や小学校との円滑な接続につなげたい。

(5) 県との連携体制の充実及びアドバイザーネットワークの有効活用

- ・「他市町村アドバイザーに学ぶ研修会」の機会に会場園（大曲中央こども園）が全クラスを公開し、市内各園や連携小学校、中学校から26名の参観者を迎える研修を行うことができた。
- ・県主催の協議会や所管研修へ積極的に参加し、情報交換・意見交換を通してアドバイザーとしてのスキル向上を図るようにした。
- ・県指導主事要請訪問や認定こども園訪問に同行した。
- ・市主催の保育実践力向上研修会の講師をお願いした。
- ・アドバイザーネットワークを活用して、潟上市と男性保育士同士の交流研修会を継続実施したことに加え、今年度から、仙北市と研修会の相互参加交流を行い、多数の職員が参加し合った。

【成 果】

- 指導主事訪問の同行や所管研修及び連絡協議会への参加によって、保育改善の方向性やポイントを捉え、園への具体的な支援につなげることができた。
- アドバイザーネットワークの活用により、研修や交流の幅を広げることができた。

【課 題】

- 県指導主事の助言が園の保育改善に確実に結びつくよう、アドバイザーの支援の在り方を引き続き模索する必要がある。

【改善の方策】

- △「他市町村アドバイザーに学ぶ研修会」への参加や県指導主事訪問同行で、アドバイザーとしてのスキルアップにつなげ、園訪問での助言に生かしていく。

5 わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業(令和6年度)の成果と課題

【成 果】

- 市内各園の「園内研修一覧」を作成し、全園に配付したことで「学び合い」の機会を広げることができ、園同士での「学び合い」が定着した。それによって、大仙市全体の保育力が年々確実に向上していることを訪問の度に実感している。
- これまで指導主事要請訪問を受けていなかった個人経営の園が、「学び合い」への参加とアドバイザーの働きかけにより、今年度要請訪問を実施した。実施後「受け入れて本当によかった」と園からの声をいただき、互いに達成感を得ることができた。
- 昨年度まで「学び合い」の受け入れがなかった園も、今年度から受け入れるようになり、保育力を向上させようとする意識の高まりが広がっている。
- 昨年度で、園小の連携体制が組織づくられた小学校区が100%となり、子どもの交流にとどまらず、相互理解を図る職員同士の研修や交流が充実してきている。
- 「大仙市架け橋カリキュラム開発会議」を立ち上げ開催することができ、各小学校区における架け橋期のカリキュラム作成に向けた土台づくりが進んでいる。

○市教育委員会との連携が更に強力になった。円滑な接続に向けて意見交換したり、市教委から小学校へ働きかけてくれたりする機会も多くなり、「共に」という意識が高まっている。

【課 題】

- 環境構成と再構成について市の研修会でも取り上げたことで、以前より意識するようにはなっているが、指導計画や保育を語る協議において環境構成の重要性を取り上げる部分が、まだ十分とはいえない。
- 園内研修の協議では、まだ意見や感想の「出し合い」に終始することも見られるので、子どもの姿をもとに語り合うことを楽しみ、共通の課題について深掘りしていけるような協議への支援を模索していく必要がある。
- 子どもの捉えや向き合い方について、小学校側の意識がまだ追いついていない部分がある。架け橋期のカリキュラムの作成を通して更に対話を重ね、何を一番大事にしていかなければならないかを互いに探っていくことで、更に幼児教育と小学校教育との円滑な接続につながるよう働きかけていく必要がある。

【改善の方策】

△子どもの内面理解や育ちの連続性を踏まえ、主体性につながる環境構成を探り、子どもも保育者も楽しいと思える保育につながるよう支援していく。

△今後も様々な場面（訪問、保育・1年研究授業等）を通して、連携の大切さを伝え理解を促し、子どもファーストを念頭におき語り合いを大切にしながら架け橋期のカリキュラム作成に取り組めるようにし、完成が目的にならないように支援していきたい。